

平成27年6月30日

各 位

会社名	フタバ産業株式会社
代表者名	取締役社長 三島 康博
コード番号	7241 東証・名証第1部
お問合せ先	上席執行役員 小木曾 伸一 TEL (0564) 31-2211

**(訂正) 「平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について**

当社は、平成24年7月30日に開示いたしました「平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由および経緯

訂正の理由および経緯につきましては、平成27年6月30日付け「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



# 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月30日

上場会社名 フタバ産業株式会社 上場取引所 東 名  
コード番号 7241 URL <http://www.futabasangyo.com>  
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 三島 康博  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 佐々木 康夫 TEL 0564-31-2211  
四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	96,869	38.2	532	—	△240	—	△643	—
24年3月期第1四半期	70,097	△25.9	△1,224	—	△1,804	—	△3,044	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 748百万円(—%) 24年3月期第1四半期 △1,393百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年3月期第1四半期	円 銭 △9.19	円 銭 —
24年3月期第1四半期	円 銭 △43.52	円 銭 —

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	220,142	48,924	16.2	510.78
24年3月期	221,579	48,175	16.1	511.42

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 35,731百万円 24年3月期 35,776百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年3月期の配当につきましては、未定としております。

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	186,700	14.7	1,400	—	800	—	△600	—	△8.58
通期	375,400	0.9	2,900	10.2	1,800	435.7	△1,000	—	△14.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有  
 ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当するものであります。詳細は【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	70,049,627株	24年3月期	70,049,627株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	94,232株	24年3月期	94,219株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	69,955,392株	24年3月期1Q	69,956,453株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、その情報の不確実性のほか、今後の経済情勢、市場動向、株価・為替動向等の状況変化により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の財政金融不安に伴い、減速感が広がっております。また、景気拡大が続いてきた中国、インドを始めとした新興国においても景気の拡大テンポが弱まってきており、総じて厳しい状況にあります。

国内経済は、復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつありますが、円高の影響や世界経済の減速懸念等もあり、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループの主要取引先であります自動車業界においては、グローバルレベルでは緩やかな回復基調にあり、国内市場においても、東日本大震災からの復旧の進展やエコカー補助金等の政策効果もあり回復基調にあります。

こうした状況のなか、当社グループにおいては、生産体制の見直し、生産効率の向上、原価改善の推進及び物流費の低減などの収益改善活動等に積極的に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、各カーメーカーの増産の影響により、売上高は968億円(前年同四半期比38.2%増)となり、営業利益は5億円(前年同四半期は12億円の営業損失)、経常損失は2億円(前年同四半期は18億円の経常損失)、四半期純損失は6億円(前年同四半期は30億円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①日本

売上高は東日本大震災からの復旧の進展やエコカー補助金等の政策効果もあって、各カーメーカーの増産の影響により、645億円(前年同四半期比49.2%増)となりました。セグメント利益は2億円(前年同四半期は24億円のセグメント損失)となりました。

#### ②北米

売上高は147億円(前年同四半期比117.2%増)となりました。セグメント損失は4億円(前年同四半期は6億円のセグメント損失)となりました。

#### ③欧州

売上高は57億円(前年同四半期比11.2%減)となりました。セグメント損失は1億円(前年同四半期は2億円のセグメント利益)となりました。

#### ④アジア

売上高は150億円(前年同四半期比3.1%減)となりました。セグメント利益は6億円(前年同四半期比55.6%減)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産については、現金及び預金等の増加はありましたが、売上債権の減少、有形固定資産の減少等により、前連結会計年度末に比べて14億円減少し、2,201億円となりました。負債については、仕入債務の減少等により、前連結会計年度末に比べて21億円減少し、1,712億円となりました。純資産については、四半期純損失の計上及びその他有価証券評価差額金の減少等があったものの、為替換算調整勘定の増加等があり、前連結会計年度末に比べて7億円増加し、489億円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今期の見通しにつきましては、世界経済は、円高の進行や欧州の財政金融不安を背景にした景気減速懸念により先行きは不透明であり、予断を許さない状況にあります。国内経済では、当社グループの主要取引先であります自動車業界においては、エコカー補助金等の終了を控えており、厳しい状況が予想されます。

なお、第2四半期累計期間、通期の連結業績予想につきましては、平成24年4月26日決算発表時の公表値を修正しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### （税金費用の計算）

一部の連結子会社における税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産（ただし、金型を除く）については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法と比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益は69百万円増加、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ69百万円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,613	20,241
受取手形及び売掛金	49,860	47,259
製品	3,923	4,385
仕掛品	7,651	8,026
原材料及び貯蔵品	3,787	3,889
繰延税金資産	6	4
その他	10,145	8,092
貸倒引当金	△87	△80
流動資産合計	91,900	91,818
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,103	28,074
機械装置及び運搬具(純額)	46,235	45,392
工具、器具及び備品(純額)	3,818	3,955
土地	15,040	15,064
リース資産(純額)	4,206	4,616
建設仮勘定	8,289	8,081
有形固定資産合計	105,692	105,185
無形固定資産		
1,096		1,273
投資その他の資産		
投資有価証券	17,988	16,916
長期貸付金	2,028	2,032
繰延税金資産	663	668
その他	4,914	4,954
貸倒引当金	△2,706	△2,706
投資その他の資産合計	22,889	21,865
固定資産合計	129,678	128,324
資産合計	221,579	220,142

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,247	53,171
短期借入金	36,969	36,183
1年内返済予定の長期借入金	25,940	26,288
リース債務	4,022	4,134
未払法人税等	1,013	579
未払消費税等	639	556
リコール損失引当金	130	86
未払費用	7,316	8,351
その他	4,610	4,207
流動負債合計	135,890	133,559
固定負債		
長期借入金	18,912	18,988
リース債務	1,226	1,439
繰延税金負債	7,232	6,931
退職給付引当金	8,997	9,175
役員退職慰労引当金	82	70
製品保証引当金	383	383
資産除去債務	189	189
その他	489	479
固定負債合計	37,513	37,658
負債合計	173,403	171,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,820	11,820
資本剰余金	12,382	10,413
利益剰余金	9,955	11,281
自己株式	△147	△147
株主資本合計	34,011	33,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,415	5,563
為替換算調整勘定	△4,650	△3,199
その他の包括利益累計額合計	1,765	2,363
少数株主持分	12,399	13,193
純資産合計	48,175	48,924
負債純資産合計	221,579	220,142



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	70,097	96,869
売上原価	67,697	92,050
売上総利益	2,399	4,818
販売費及び一般管理費	3,624	4,286
営業利益又は営業損失(△)	△1,224	532
営業外収益		
受取利息	50	23
受取配当金	100	94
作業くず売却益	149	71
雑収入	142	88
営業外収益合計	442	278
営業外費用		
支払利息	426	309
デリバティブ評価損	13	11
持分法による投資損失	29	14
為替差損	413	412
雑損失	139	304
営業外費用合計	1,021	1,051
経常損失(△)	△1,804	△240
特別損失		
投資有価証券評価損	226	—
特別損失合計	226	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,030	△240
法人税等	526	285
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,556	△526
少数株主利益	488	117
四半期純損失(△)	△3,044	△643

四半期連結包括利益計算書  
【第1四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△2,556</u>	<u>△526</u>
その他の包括利益		
<del>その他有価証券評価差額金</del>	<u>△153</u>	<u>△854</u>
<del>為替換算調整勘定</del>	1,216	1,823
<del>持分法適用会社に対する持分相当額</del>	99	305
<del>その他の包括利益合計</del>	<u>1,163</u>	<u>1,275</u>
四半期包括利益	<u>△1,393</u>	<u>748</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△2,260</u>	<u>△45</u>
少数株主に係る四半期包括利益	867	794

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	41,410	6,788	6,479	15,417	70,097	—	70,097
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,873	0	0	72	1,945	△1,945	—
計	43,283	6,788	6,479	15,489	72,042	△1,945	70,097
セグメント利益又は損失(△)	△2,435	△675	266	1,527	△1,317	92	△1,224

(注) 1 セグメント利益の調整額92百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	61,418	14,746	5,756	14,948	96,869	—	96,869
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,156	—	—	61	3,217	△3,217	—
計	64,575	14,746	5,756	15,009	100,086	△3,217	96,869
セグメント利益又は損失(△)	216	△461	△118	678	314	218	532

(注) 1 セグメント利益の調整額218百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年5月24日の取締役会において、会社法第459条第1項の規定に基づく定款の定めにより、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分について決議いたしました。

1 資本準備金の額の減少及び剰余金の処分の目的

資本準備金の額を減少し剰余金の処分を行うことによって、繰越利益剰余金の欠損を填補するもの。

2 資本準備金の額の減少の要領

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金を減少しその他資本剰余金に振替えるもの。

(1) 減少する準備金の項目及びその額

資本準備金 1,969百万円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 1,969百万円

3 剰余金の処分の要領

会社法第452条の規定に基づき、上記2で振替えたその他資本剰余金をさらに繰越利益剰余金に振替え、欠損を填補するもの。

(1) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 1,969百万円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 1,969百万円

4 資本準備金の額の減少及び剰余金の効力の発生日

(1) 取締役会決議日 平成24年5月24日

(2) 効力発生日 平成24年5月24日

(訂正前)



# 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年7月30日

上場会社名 フタバ産業株式会社 上場取引所 東 名  
コード番号 7241 URL <http://www.futabasangyo.com>  
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 三島 康博  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 佐々木 康夫 TEL 0564-31-2211  
四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年6月30日)

### (1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	96,869	38.2	532	—	△240	—	△643	—
24年3月期第1四半期	70,097	△25.9	△1,224	—	△1,804	—	△2,818	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 739百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △1,167百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年3月期第1四半期	円 銭 △9.19	円 銭 —
24年3月期第1四半期	円 銭 △40.29	円 銭 —

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
25年3月期第1四半期	百万円 220,347	百万円 49,136	% 16.3	円 銭 513.81
24年3月期	221,798	48,397	16.2	514.59

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 35,943百万円 24年3月期 35,998百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年3月期の配当につきましては、未定としております。

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	186,700	14.7	1,400	—	800	—	△600	—	△8.58
通期	375,400	0.9	2,900	10.2	1,800	435.7	△1,000	—	△14.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当するものであります。詳細は【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	70,049,627株	24年3月期	70,049,627株
25年3月期1Q	94,232株	24年3月期	94,219株
25年3月期1Q	69,955,392株	24年3月期1Q	69,956,453株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、その情報の不確実性のほか、今後の経済情勢、市場動向、株価・為替動向等の状況変化により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の財政金融不安に伴い、減速感が広がっております。また、景気拡大が続いてきた中国、インドを始めとした新興国においても景気の拡大テンポが弱まってきており、総じて厳しい状況にあります。

国内経済は、復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつありますが、円高の影響や世界経済の減速懸念等もあり、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループの主要取引先であります自動車業界においては、グローバルレベルでは緩やかな回復基調にあり、国内市場においても、東日本大震災からの復旧の進展やエコカー補助金等の政策効果もあり回復基調にあります。

こうした状況のなか、当社グループにおいては、生産体制の見直し、生産効率の向上、原価改善の推進及び物流費の低減などの収益改善活動等に積極的に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、各カーメーカーの増産の影響により、売上高は968億円(前年同四半期比38.2%増)となり、営業利益は5億円(前年同四半期は12億円の営業損失)、経常損失は2億円(前年同四半期は18億円の経常損失)、四半期純損失は6億円(前年同四半期は28億円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①日本

売上高は東日本大震災からの復旧の進展やエコカー補助金等の政策効果もあって、各カーメーカーの増産の影響により、645億円(前年同四半期比49.2%増)となりました。セグメント利益は2億円(前年同四半期は24億円のセグメント損失)となりました。

#### ②北米

売上高は147億円(前年同四半期比117.2%増)となりました。セグメント損失は4億円(前年同四半期は6億円のセグメント損失)となりました。

#### ③欧州

売上高は57億円(前年同四半期比11.2%減)となりました。セグメント損失は1億円(前年同四半期は2億円のセグメント利益)となりました。

#### ④アジア

売上高は150億円(前年同四半期比3.1%減)となりました。セグメント利益は6億円(前年同四半期比55.6%減)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産については、現金及び預金等の増加はありましたが、売上債権の減少、有形固定資産の減少等により、前連結会計年度末に比べて14億円減少し、2,203億円となりました。負債については、仕入債務の減少等により、前連結会計年度末に比べて21億円減少し、1,712億円となりました。純資産については、四半期純損失の計上及びその他有価証券評価差額金の減少等があったものの、為替換算調整勘定の増加等があり、前連結会計年度末に比べて7億円増加し、491億円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今期の見通しにつきましては、世界経済は、円高の進行や欧州の財政金融不安を背景にした景気減速懸念により先行きは不透明であり、予断を許さない状況にあります。国内経済では、当社グループの主要取引先であります自動車業界においては、エコカー補助金等の終了を控えており、厳しい状況が予想されます。

なお、第2四半期累計期間、通期の連結業績予想につきましては、平成24年4月26日決算発表時の公表値を修正しておりません。



## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

一部の連結子会社における税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産(ただし、金型を除く)については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法と比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ69百万円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,613	20,241
受取手形及び売掛金	49,860	47,259
製品	3,923	4,385
仕掛品	7,651	8,026
原材料及び貯蔵品	3,787	3,889
繰延税金資産	6	4
その他	10,145	8,092
貸倒引当金	△87	△80
流動資産合計	91,900	91,818
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,103	28,074
機械装置及び運搬具(純額)	46,235	45,392
工具、器具及び備品(純額)	3,818	3,955
土地	15,040	15,064
リース資産(純額)	4,206	4,616
建設仮勘定	8,289	8,081
有形固定資産合計	105,692	105,185
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	18,207	17,120
長期貸付金	2,028	2,032
繰延税金資産	663	668
その他	4,914	4,954
貸倒引当金	△2,706	△2,706
投資その他の資産合計	23,108	22,070
固定資産合計	129,897	128,529
資産合計	221,798	220,347

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,247	53,171
短期借入金	36,969	36,183
1年内返済予定の長期借入金	25,940	26,288
リース債務	4,022	4,134
未払法人税等	1,013	579
未払消費税等	639	556
リコール損失引当金	130	86
未払費用	7,316	8,351
その他	4,610	4,207
流動負債合計	135,890	133,559
固定負債		
長期借入金	18,912	18,988
リース債務	1,226	1,439
繰延税金負債	7,230	6,924
退職給付引当金	8,997	9,175
役員退職慰労引当金	82	70
製品保証引当金	383	383
資産除去債務	189	189
その他	489	479
固定負債合計	37,511	37,651
負債合計	173,401	171,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,820	11,820
資本剰余金	12,382	10,413
利益剰余金	10,181	11,507
自己株式	△147	△147
株主資本合計	34,237	33,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,410	5,549
為替換算調整勘定	△4,650	△3,199
その他の包括利益累計額合計	1,760	2,349
少数株主持分	12,399	13,193
純資産合計	48,397	49,136
負債純資産合計	221,798	220,347

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	70,097	96,869
売上原価	67,697	92,050
売上総利益	2,399	4,818
販売費及び一般管理費	3,624	4,286
営業利益又は営業損失(△)	△1,224	532
営業外収益		
受取利息	50	23
受取配当金	100	94
作業くず売却益	149	71
雑収入	142	88
営業外収益合計	442	278
営業外費用		
支払利息	426	309
デリバティブ評価損	13	11
持分法による投資損失	29	14
為替差損	413	412
雑損失	139	304
営業外費用合計	1,021	1,051
経常損失(△)	△1,804	△240
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,804	△240
法人税等	526	285
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,330	△526
少数株主利益	488	117
四半期純損失(△)	△2,818	△643

四半期連結包括利益計算書  
【第1四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△2,330</u>	<u>△526</u>
その他の包括利益		
<del>その他有価証券評価差額金</del>	<u>△153</u>	<u>△863</u>
<del>為替換算調整勘定</del>	1,216	1,823
<del>持分法適用会社に対する持分相当額</del>	99	305
<del>その他の包括利益合計</del>	<u>1,163</u>	<u>1,265</u>
四半期包括利益	<u>△1,167</u>	<u>739</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△2,034</u>	<u>△54</u>
少数株主に係る四半期包括利益	867	794

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	41,410	6,788	6,479	15,417	70,097	—	70,097
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,873	0	0	72	1,945	△1,945	—
計	43,283	6,788	6,479	15,489	72,042	△1,945	70,097
セグメント利益又は損失(△)	△2,435	△675	266	1,527	△1,317	92	△1,224

(注) 1 セグメント利益の調整額92百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	61,418	14,746	5,756	14,948	96,869	—	96,869
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,156	—	—	61	3,217	△3,217	—
計	64,575	14,746	5,756	15,009	100,086	△3,217	96,869
セグメント利益又は損失(△)	216	△461	△118	678	314	218	532

(注) 1 セグメント利益の調整額218百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年5月24日の取締役会において、会社法第459条第1項の規定に基づく定款の定めにより、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分について決議いたしました。

1 資本準備金の額の減少及び剰余金の処分の目的

資本準備金の額を減少し剰余金の処分を行うことによって、繰越利益剰余金の欠損を填補するもの。

2 資本準備金の額の減少の要領

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金を減少しその他資本剰余金に振替えるもの。

(1) 減少する準備金の項目及びその額

資本準備金 1,969百万円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 1,969百万円

3 剰余金の処分の要領

会社法第452条の規定に基づき、上記2で振替えたその他資本剰余金をさらに繰越利益剰余金に振替え、欠損を填補するもの。

(1) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 1,969百万円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 1,969百万円

4 資本準備金の額の減少及び剰余金の効力の発生日

(1) 取締役会決議日 平成24年5月24日

(2) 効力発生日 平成24年5月24日